

令和7年2月

魚津市定例記者会見



日時：令和7年1月31日(金) 午後1時30分～午後2時5分

場所：市役所 第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、北陸中日新聞、富山新聞社、読売新聞、朝日新聞
NHK、BBT、チューリップテレビ、NICE TV、ラジオミュー

市当局出席者：市長、情報広報課長

【市長からの発表事項】

1. 犯罪被害者等支援講演会

(市民課)

12月定例会で、魚津市犯罪被害者等支援条例を制定をし、施行をしたところです。条例は、犯罪被害に遭われた方への支援という側面と、市民の皆様の理解を深めていただくといった内容になっています。

また、二次的被害の防止の重要性については、例えば直接の被害そのものでなく周囲の心無い言動により、精神的苦痛を受けたり、あるいは名誉毀損、経済的な損失で住む場所が変わらざるをえなくなったりとか、いろいろなことがあると思います。今回は、そういったことの防止、二次的被害の防止の重要性などにつきましても、皆様に理解を深めていただく講演会を開催するものであります。(講演会の内容紹介)

次に、資料にありますように、犯罪被害者等支援総合窓口を設置します。大きい窓口を置くわけではないのですが、1階の窓口で、こういったご相談も対応をしています、ということをお示しをしていきたいと思っており、本日から設置をしていきます。総合窓口の役割としては、被害者等の実情に応じた情報提供ですとか、警察を初めとする関係機関との連絡調整、そして支援制度がありますので、そういったものの相談や受け付け、そして、市民の皆様や、事業者の皆様に理解を深めていくための広報啓発に取り組んでいく予定です。

2. みらパークでプレーパークを開催します

(都市計画課)

プレーパークうおづ特別セミナーというのが1日目の取り組みになります。こちらの方で、セミナー、そして実践報告を開いて、グループディスカッションを行います。

(チラシ内容の紹介)

講師の皆様からは、実践活動を通じていろいろな話が聞けるのではないかなと思います。

さらにプレイリーダーの話もあります。プレイリーダーは、もともと冒険遊びということなので、既設の何か遊具を使うというよりは、そこにあるものを利用して子供たちが工夫しながら進んでいくと、そのような体験を積んでもらうということを目的とします。2月20日には星の杜小学校の6年生の児童の皆さんが企画をしてくれたイベントなどをやって行く予定としています。

3. 2025 ポリテックビジョン in 新川

(商工観光課)

能力開発大学の生徒さんのいわば研究成果の発表の場になります。

(チラシの内容説明)

もちろん学生だけでなく、一般の方々にもお聞きいただけますので、皆さんにまたお越しいただければ思っております。

【その他】

水族館のガバメントクラウドファンディングの、速報値になりますが、昨年11月から今年1月30日までの3か月間、ガバメントクラウドファンディングを実施してきましたが、速報値で1629件、約4600万円の応援をいただくことができました。皆様に感謝申し上げます。たくさんいただいたこの応援を、しっかり活用いたしまして、水族館老朽化箇所をしっかりと改修し、魚たちも元気に泳ぐ、楽しい場所として、皆さんの応援が生きてると、いうことをお示しできるようにしていきたいと思っております。

【質疑応答の内容】

○新庁舎整備について

《記者からの質問と回答》

(記者) 本日、新庁舎の基本計画案が示されたところだが、新庁舎に向けて、改めて市長の想いを聞かせていただきたい。

(市長) この庁舎は完成したのが昭和42年になるが、かなり老朽化しており、耐震性も一部不安もあるという状況であります。まずは、市民の皆様に安心してもらえる、そして使い勝手の良い、便利な庁舎だとなるように、整備をしていきたいと思っておりますし、働いている職員にとっても、やはり働きやすい、そういったことも重要だと思っておりますので、使っていただく市民の目線、そこでサービスを提供していく職員、その両面でいい庁舎になるように、着実に整備を進めていきたいと思っております。

(記者) 庁舎が公園に隣接するなどのデザインは、市民の利便性を考えたデザインということなのか。

(市長) 市民の皆様の利便性という点に関しては、庁舎利用そのものは、リアルに来ていただく部分もありますし、今は、書かない窓口といった手続きができたりと、必ずしも庁舎に行く必要がなくなってくるのかもしれませんが、公園と一体となって集えるような、そういった空間ができたらいいなという思いはあります。したがって今、公園をどう生かすか、配置はこれからですけれども、そういった形でより多くの、市民が気軽に集えるような空間ができればいいなということは、イメージしています。

(記者) 新庁舎の整備に関して、今日の会議で出た意見として、庁舎の整備に関わった事務のシステムの見直しだとか、公園と一体的な仕様利用を考えると公園の一部は整備をしないといけないんじゃないか、そうすると経費がかさむのではないかと、といったような意見がありましたが、これから新庁舎整備に向けて、改めて費用面について伺いたい。

(市長) そこはやはり大事なところだと思います。今、基本計画の中では、現状、あるいは今後の、物価上昇なんかも含めて、お示ししたような事業フレームで進めていきたいということでのわけですけれども、当然、いろいろな変動要素がありますので、そこに必ず収まるとは限らないわけです。我々とすれば、やはりまず1つにはできるだけ機能的な庁舎にしていきたいと思っておりますので、高価なものとか、そんなイメージではなく、まずは、庁舎としての機能を市民の皆様に使やすい、わかりやすい建物をまずイメージしていきたいと思っておりますし、設計を進めていく中で、例えば事業費の変動が大きく見込んで見込まれるようなケースもあろうかと思っておりますので、そういった際には、どうしても必要なものは残していかなければいけませんけれども、工夫できる部分は、例えば事業費の縮減も考えていかなければならないかなとは思っています。

○水族館クラウドファンディングについて

《記者からの質問と回答》

(記者) 率直に水族館クラウドファンディングの金額に関してどう思うか。

(市長) 本当に多く、予想をはるかに超える、応援をいただいたと感じています。いろいろなメディアでも取り上げられたこともあるんだろうと思います。一番最初に職員が手で波を起こしています、といった話題が皆様の目に入ったのだろうと思いますし、

日本一古いという点も、皆様に再認識していただき、このような結果になった部分もあるのだろうと思い、本当に感謝しております。

冒頭申し上げましたけれど、これだけ応援をいただいて、それをしっかり活用するということと、活用した上で、こんなにちゃんと生かされていますよ、と知っていただくことが重要だと思っているので、そんな工夫をしていきたいと思っています。

また、寄付者の内訳で、県内、県外もほぼ同数で、県外の方が少し多いということに、驚きとともに感謝しております。予想をはるかに上回る応援をいただいたというふうに思っています。今の建物をつなぎとめていきながら、新年度はまた、アドバイザーの方にもいろいろお聴きしながら、イメージを描いていけたらなというふうに思っています。

○下水道管について

《記者からの質問と回答》

(記者) 下水道管の耐用年数について伺いたい。

(市長) 現在、令和2年度からスタートして令和11年までの10年間になるのですが下水道管の調査を進めています。処理場に近い方から必要なポイント箇所をあらかじめ選んであって、そこを順次点検をしている状況と聞いています。

○県立高校の再編について

《記者からの質問と回答》

(記者) 市長としての要望は。

(市長) ワンチーム会議の時にお話したのは、生徒たちが、こういう講義なら聞きたいとか、こういう製品なりサービスなり商品を作る学校なら行きたいとか、学ぶ魅力を感じることができる学校にしてほしいとお伝えしました。先生とか講師、講義をする人はとても大事になるんじゃないかとお話ししました。